

レーザー手術

アルゴンプラズマ凝固法（APC）

●アルゴンプラズマ凝固法とは

アレルギー性鼻炎（花粉症を含む）に対する、レーザー手術です。

鼻の中で、主にアレルギー反応を起こすのは下鼻甲介といわれる粘膜です。

このアレルギー反応の場所をアルゴンプラズマにより焼灼し、粘膜を変性させます。

粘膜が変性縮小することにより鼻づまり、くしゃみ、鼻水が軽減します。

薬が効きづらかったり薬を減らしたい方、内服で眠気ばかり出て困っている方などに適しています。

●治療の手順

※麻酔薬をしみ込ませたガーゼを鼻の中に 20 分前後入れた状態にして、下鼻甲介の粘膜を十分に麻酔します。

※アルゴンプラズマにて下鼻甲介を焼灼していきます。内視鏡で確認しながら行います。

両側で 5～10 分程度です。

※術中、痛みはほとんどありませんが、時々ビリッと感じる方がいます。痛みを感じるようでしたら再度麻酔を追加します。

※当日はデスクワークやシャワーなどは OK です。力仕事や激しい運動は控えてください。

●処置後の注意事項

※術後、1～2 週間は鼻の中にかさぶたが付くため、一時的に鼻づまりがひどくなります。

※2 週間前後で大きなかさぶたが取れると、鼻づまりは改善していきます。

※その後、下鼻甲介の粘膜が再生してきて効果が低下していきますが、平均して半年～2 年くらい鼻づまりのない良好な状態が保てることが多いです。

※術後は、週に 1～2 回、1 ヶ月程度、鼻の中の掃除・処置に通院していただきます。

●治療の時期

スギ花粉症など、特定の時期に症状がひどくなる方は、症状が悪化する 1 ヶ月前までに治療を行うことが望ましいです。

●以下の方はアルゴンガス治療ができません

- ・血液をサラサラにする薬を飲んでいる方
- ・妊娠中
- ・ペースメーカー挿入中の方
- ・小学生以下
- ・麻酔薬（キシロカイン）に過敏な方
- ・強度の鼻中隔湾曲症・鼻腔が極端に狭い方

※レーザー手術は予約・事前診察が必要となります。ご希望の方は、一度診察にお越しください。